



MEDICAL NEWS 2010 秋号



食欲の秋、行楽の秋、読書の秋・・・秋は、夕涼みしながら、親子で楽しむ時間が増えますね。MEDICAL NEWS では、医療情報や家庭での看護などを中心に掲載しております。秋号では「急性胃腸炎」をテーマに掲載いたします。胃腸炎のなかでも、夏はウイルス性が多く、秋はウイルス性と細菌性が多くなる傾向があります。

☆ウイルス性胃腸炎とは

原因として代表的なのは、ロタウイルス、ノロウイルスなどがあります。風邪と同じように流行し、多数の子供が罹患します。急に吐き始め、その後下痢になるというのが典型的な症状です。ウイルスによる胃腸炎では、水のような下痢便が数日続きます。吐かずに下痢だけの症状の方もいます。潜伏期間（感染してから症状が出てくるまでの時間）は、ロタウイルスでは1～3日、ノロウイルスでは1～2日です。患者の便から手を介して、経口感染します。保育園などで一人かかると、すぐにひろがってしまいます。予防は手洗いに尽きます。子どもの手洗いが上手にできているか一度チェックしてみてください。

☆細菌性胃腸炎とは

原因として代表的なのは、サルモネラ菌、カンピロバクター菌などがあります。細菌による胃腸炎では、下痢便に血液や粘液が混ざることがあり、腹痛、発熱を伴うことも多いです。夏は食品が腐りやすく気を配っているけれど、意外に秋は油断してしまい汚染した食品を食べてしまうケースがあるのです。また、汚染された料理によって集団で食中毒が発生することがあります。潜伏期間は、サルモネラ菌では半日から2日程度、カンピロバクター菌では1～7日(平均2～3日)です。ウイルス性と違って、治療には抗生物質を使うことがあります。

☆家庭でできる初期対応

体内の水分と電解質（ナトリウム・カリウムなど）が急激に奪われて、脱水になります。電解質が多く含まれ、吸収しやすい状態にしてあるイオン飲料を飲むようにしましょう。お茶やお水では、成分的に適していません。脱水の症状が進むと、ふらつきが強くなり、尿量が減ります。イオン飲料を摂っても改善しないときは、早めに医療機関を受診しましょう。治療は点滴をして水分や電解質を補充することになります。

☆お知らせ

・10月よりインフルエンザワクチン（季・新型混合）を接種できる予定です。2回接種すると効果が得られるので、早めに予定を組まれることをお勧めします。接種開始時期や、料金などは9月にホームページやリーフレットにてお知らせいたします。

- ・休診のお知らせ 9/1（水） 院長の診療 16:00～17:30 の時間帯はお休みとなります。
9/25（土） 12:30 までの診療となります。ご了承頂きますように、お願い致します。